

100人会議の  
会議

今回は100人会議の会議について紹介します。

会議は基本的に毎月第1土曜日に行っています。場所は保健福祉センターや各センター、市役所内の会議室などで行われます。時間は朝の9時～11時までの2時間。基本的に休憩はありませんが、会議の進行状況によっては設ける場合もあります。議長は100人会議の委員長が担当し、議事を進行、推進員のさまざまな意見を聞き、それをまとめます。

## 会議は一般公開

市の会議はほとんど平日に開催されるため、平日に仕事を持つ人は会議を傍聴することがなかなか出来ないのが現状だと思います。

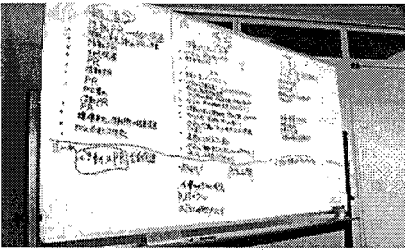
100人会議の会議は土曜日開催です。会議は一般公開していますので、どなたでも傍聴できます。土曜日は仕事で休みの人も多いはずなので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。100人会議推進員と市とが、どのようなことを話しているのか聴いていただきたいと思います。もしそこで何か意見がありましたら会議後、意見を聞かせてください。

会議の開催日時や場所は

事務局に問い合わせるか市のホームページで確認してください。

ふるさとまつりに  
向けて

今年度5回目の会議を7月8日に開催し、以前から提案があった今年の「ふるさとまつり」への参加について、参加内容を各推進員に出してもらい、検討しました。参加内容については正式な参加確定後、報告させていただきます。



▶企画案をホワイトボードに書き出す

## 環境美化里親制度の近況

以前から進めている環境美化システム「環境美化里親制度」はこの8月から来年度の表現にむけて本格的に動き出しました。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

新しいまち美化システム「環境美化里親制度」を、初代100人会議推進員が提言して、はや2年半がたとうとしています。

## 第3回検討会

この制度について市関係各課で検討会が行われ、8月8日に行われた3回目の検討会で平成19年度の本格的な運用を目指すことになりました。

8月12日の100人会議の定例会議において、市民参加推進課よりこの検討会の報告がありました。

その資料として実施要綱（案）のほか、活動届、合意書、活動実施報告書などの書式類があり、かなり具体的なところで検討された感がありました。

## 今後の予定

市では今後、更なる検討会、予算措置などを行い、制度の策定手続き、制度周知に向けた活動を行う予定です。

この制度を提言した100人会議では制度策定に対する提案、制度の周知、運用などについて今後も協力することになります。

## 制度の目的・仕組み

この制度の目的は公共スペースの環境美化・保全はもろろんのこと、環境美化

に対する市民意識を高めることです。市民と市との協働により「市民と築く安心で健康なまちしろい」を推進することもあります。

市では清掃活動を行うために必要な清掃用具の貸し出しや、ごみ袋などの物品の支給、ボランティア活動保険の加入などのサポートを行います。この事業に参加する団体や個人は活動区域・内容、参加名簿を提出し、合意書を取り交わします。



▶モラルを守りましょう

## 名称について

さてこの制度の名称ですが、市では里親に対するイメージから「白井市アダプトプログラム制度」としていますが、市民に親しみをもってこの事業に参加していただくため、新名称を検討中です。

今後も引き続きこの制度については、報告していきます。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

100人会議が「ふるさとまつり」に初めて参加します。今まさに準備中です。

## 2つの班に分かれて

9月2日と9日の会議で、100人会議の活動を紹介する「パネル班」と催し物やアンケート調査を担当する「みこし班」とに分かれ、イベント内容の検討を行いました。突然「みこし班」という名前が出てきましたが、班名の由来はおみこしを展示しようではないか、という企画案が発端です。市の協力により、普段は市役所1階に展示されているおみこしを特別にテント内に展示することが決まりました。

## イベント内容

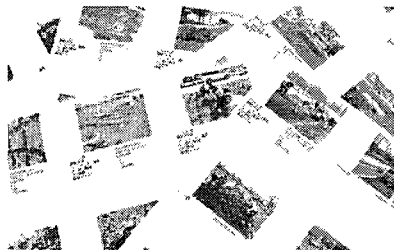
「パネル班」では100人会議の今までの活動を写真を中心にパネルに掲示します。会議、ごみ拾い、花植えなどの活動のほか、なんと推進員の顔写真も掲示します。テント内にたくさん掲示された写真をぜひ見に来てください。

「みこし班」では環境をテーマとしたアンケート調査を行い、回答者には粗品を進呈します（粗品は当日のお楽しみに）。おみこしを展示しますので、記念に写真撮影などいかがでしょうか。そのほかにも子ども

が喜ぶ催しも企画しています。

## 約500枚の活動写真

3年半の活動で撮影した写真は約500枚。選ぶのに大変苦労しました。「ふるさとまつり」当日はその中から60枚程の活動写真を掲示します。



▲活動の記録写真

ふるさとまつりは10月28日(土)と29日(日)の2日間にわたり開催されます。100人会議のぼり旗、クリーンのピフス(ベスト)を目印に遊びに来てください。※ここで紹介したイベント内容は変更する場合もあります。

1 図 市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

100人会議恒例の秋の花植えをホームセンター「ホームック」前の分離帯で行いました。



チームワーク抜群の推進員たち

## 抜群のチームワーク

以前から植えてあったシバザクラを別の場所に移し、今回の花植えに向けて9月から整備を行ってきました。

10月7日にシバザクラを戻し、翌週14日に黄色と紫色のピオラを田中副委員長の指示の下、推進員はデキパキと花壇全体に植えて行きました。

4年ほどこの花壇の管理をしています。さすがに作業は手馴れたものです。チームワーク抜群です。

## 100人会議走る

10月1日に行われた「白井県マラソン大会」に推進

員1人が参加。

100人会議アピールのため、美化活動の時に着用するピフスを着て、10キロコースを無事完走しました。かなりの数のランナーに追い抜かれたため、白井市民以外の人も「白井市100人会議」の名称は覚えてくれたのではないのでしょうか。

市民活動も健康があつてのもので、マラソンとまでは言いませんが、適度な運動を行いましよう。

1 図 市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

10月28日・29日の「ふるさとまつり」に1000人会議が初参加しました。

## 写真とザリガニ釣り



大反響、100 人会議

花植え、ごみ拾い、会議という活動分類に分けた写真と推進員の紹介を兼ねた写真展示と環境美化に関するアンケートを実施。協力していただいた人には、景品をプレゼントしました。テント前ではザリガニ釣りも実施しました。企画会議では賛否両論でしたが蓋を開けてみると、子どもたちにも大人気でした。

## アンケート結果は

総数327件。男女回答者比率、3対7で女性が多く、市内在住が約7割。男性は60代、女性は30代が比較的多かったです。アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 1000人会議を知っていますか。
- 市内の人の4割が知っている
- まちをきれいにする案

例を知っていますか。

● 6割が知っている

● 白井市はゴミが少ないと思いますか。

● 市内の人が半数、市外の7割の人が少ないと感じている

● 環境美化活動に関心がありますか。

● 9割の人が関心あり

● 美化活動の参加経験は、半数が経験あり

● 1000人会議の活動に参加したいと思いませんか。

● 市内の人で60人近くが思うと回答

そのほか感謝や応援のメッセージや意見もたくさんいただきました。今後の活動にアンケート結果や意見を参考にさせていただきます。ありがとうございます。

初めての「ふるさとまつり」。ますますの成功だったと思います。

## 北総線の駅で

来月1月と2月に北総線の白井駅と西白井駅で今回の展示を再現します。お楽しみに。

● 市民参加推進課1000人会議事務局 内線315

★この記事は1000人会議により作成されたものです。



延命寺にて

市には市民活動推進センターがあります。ここは市民活動団体の情報発信、会議や交流を行う場所です。市内には多くの市民活動団体が組織され、個々に活動していますが、このセンターに登録している団体同士で情報交換などを行い、さらに活動の輪を広げようと11月19日に交流会を行いました。

## センターへ

市民活動はそれぞれ意味があります。間違はなく市にとって、重要な存在になってくるでしょう。

市民活動団体の情報を得たり、自分にあつた活動を探したり、何か考えている活動があれば市民活動推進センターに足を運び、相談するなどしてみたいかがでしょうか。場所は白井駅前センターの一角にあります。

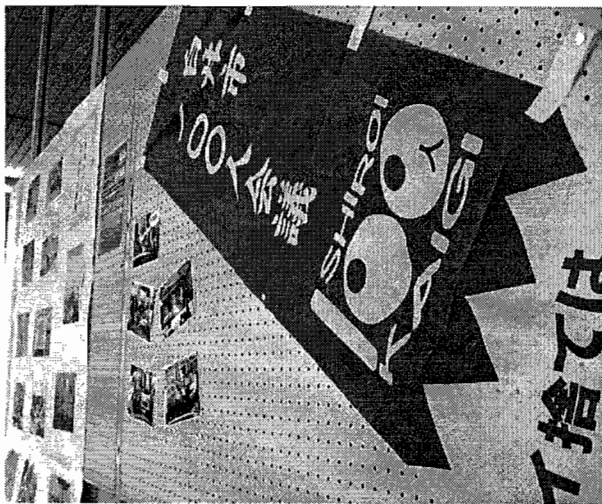
大きく輪を広げ、白井を良いまち、楽しいまちに発展させましょう。市民の力が大事です。

● 市民参加推進課1000人会議事務局 内線315

★この記事は1000人会議により作成されたものです。

SHIROI  
100  
KAIGI  
2007-2

白井駅、西白井駅にて

REPORT  
29

駅バージョン、100 人会議活動報告

市内美化活動の推進と100人会議の活動を紹介するため、活動報告ポスターを1月から2月にかけて北総線の白井駅と西白井駅で展示しました。

### 朝の9時から

白井駅では1月14日から展示を始めるため、白井駅を利用する推進員5人が当日の朝9時に集合。

ふるさとまつりに参加した時の写真を追加して、約30分で展示作業を終えました。

### 千葉NTT中央駅でも

展示は終わってしまいましたが、見ることでできなかった人は千葉ニュータウン中央駅にも3月に展示する予定です。利用の際にはぜひ見てみてください。

### 無料で利用できます

日ごろの市民活動の発表に駅のこの展示スペースを利用されてはいかがでしょう。展示利用は無料ですが、申込書と計画書の提出が必要です。希望者が多く、希望展示期間がありましたら、早めの提出をお勧めします(展示日の2カ月前から申し込み可能)。申込書と計画書は各駅または北総鉄道のホームページから入手ができます。

100人会議では発表方法のアドバイスもしますので、ぜひご相談ください。

市民参加推進課 100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

SHIROI  
100  
KAIGI  
2007-3

4月からの仲間を募集

REPORT  
30

100 人会議主催の美化活動

●事務局という立場から見ただ、100人会議を教えてください。

○青木さん 100人会議のメンバーは頭を使って会議、汗を流して実践活動、仲間づくりに親睦と、何に対しても全力投球です。自分の経験や知識などを生かして、さまざまな意見や提案をいただいています。

それらに対して、市民と行政の役割を考えながら、皆さんの声を形にしていくなしきを感じています。

●5期目に求める人は。

○田中さん デジタルカメラやパソコンができる若い人に参加してもらいたいです。100人会議の在り方に革新的な意見を出してくれる人を求めます。

○青木さん 活動日は毎月第1・2土曜日を予定していますので、平日に仕事をしている人でも参加できます。また団塊世代の人で市民活動を行いたい人が、どうしたらよいか分からない人は、そのきっかけになると思います。

5期目の100人会議は3月23日(金)まで募集していますので、参加を希望する人はご連絡ください。

市民参加推進課 100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

活動を通して多くの人と知り合えたのも一つの財産ですね。

白井市 100 人会議

100人会議推進員は3月3日・10日に、平成18年度のまとめと平成19年度の活動方針について話し合いました。



▶さまざまな意見が飛び交う100人会議

新しい年

100人会議では毎年3月に1年間の活動を振り返り、文書にまとめた報告書を作成しています。平成18年度はアダプトプログラム（環境美化里親制度）の実現化を始め、活動のアピールと啓発活動に重点を置きました。活動をアピールするためにはふるさとまつりに参加し、ザリガニ釣りやアンケート調査、北総線各駅で写真を中心とした活動報告の展示、100人会議のロゴをプリントしたTシャツを作成し活動時に着用するなど新しいことを行っていました。

美化活動ではホームセンタ―「ホームマック」前の中央分離帯の花植えと整備や桜台地区および白井・西白井駅周辺のごみ拾いを行いました。この美化活動には多くの市民が参加してくれました。

ごみを減らすには

まちをきれいにするためにごみ拾いを活発に行い、ポイ捨て禁止をアピールしてきましたが、一向にごみが減りません。捨てる場所がないため、ついポイ捨てしてしまうのではと考え、ごみ箱や灰皿の設置を行い、状況を見てみようという意見も出てきました。

平成19年度の活動

平成19年度の美化活動は拾っても一向に減らないごみ問題に対し、今までは違う視点から考えてみます。ほかにも白井におけるさまざまな問題点を会議で検討して行きます。そしてアダプトプログラムの制度普及発展を目指します。

時には私たちへの活動に關してもありますが、その時は協力をお願いします。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100 人会議

26人に委嘱

委嘱状交付式が4月16日に行われ、中村市長から推進員一人一人に委嘱状が交付されました。今期の推進員は昨年から引き続き参加の17人と新参加の9人を加えた26人です。今年で5期目となる100人会議ですが、中村市長から「本会議から提案のあったアダプトプログラムがいよいよスタートします。行政と連携・協働して普及促進に努めてほしい」という言葉をいただきました。



推進委員の皆さんと中村市長

第1回会議

委嘱後最初の会議が同日開催され、事務局から100人会議の職務および構成などの説明、各推進員の自己紹介、役員選出が行われました。

今期の委員長は、第1期目から参加し、前期に引き続き市民活動に精通してい

る加藤三洲さんに決定。

美化推進活動リーダーには昨年に引き続き田中和八さん、広報・啓発活動リーダーには、これまで4年間の長きにわたってリーダーとして活躍された水谷さんが横浜に転居することになり、替わって、濱崎嘉徳さんが担当することになりました。

アダプトプログラム

今期の活動方針は何をおいても「アダプトプログラムの普及促進」です。

アダプトプログラムとは米国発祥で一般的には里親制度と訳されています。

公共の場所（公園・道路など）を養子にみ立て、市民が里親となって養子の美化（清掃・花植え活動など）を行い、行政はこれを支援する制度で、究極の美化活動制度と言われています。

白井市ではメンバーの思いを込めて「市民が育てるきれいなまちづくりたい」として、今期より本格的にスタートします。あなたもこれに参加して、自分の手で自分のまちをきれいにすることの初めの一歩を踏み出してみませんか。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

## 第2回会議

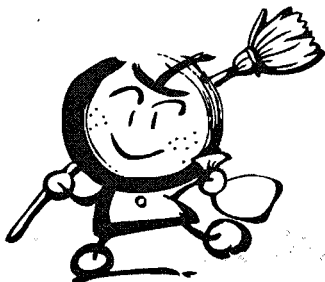
「100人会議は白井の  
ために考動します」の大前  
提の基に、5月12日に開催  
された会議では基本的な活  
動日（第1土曜日の定例会  
議、第2土曜日の美化実践  
活動）を決め、今年度の活  
動計画について話し合いま  
した。

①大松交差点植栽帯  
大松交差点と西白井消防  
署の間にあり、歩道の内側  
に沿って広がるスペースで  
す。頑丈な柵もあり、現況  
の雑草の替わりに花が植  
わってれば、立派な花壇  
となると思います。

## 活動計画

平成18年度に行った事業  
は中央分離帯花壇の管理、  
駅前地区の清掃活動、ふる  
さとまつりへの参加、駅ス  
ペースを活用したPR活動  
があり、これらの活動は平  
成19年度においても継続し  
ます。

## 新なし坊登場



「ほうきと花を持ったなし坊」

「アダプトプログラムの  
普及促進」を図るため、1  
00人会議では市民や市民  
活動団体とともに活動でき  
る候補予定地を見学しまし  
た。見学先は次の3カ所だ  
す。

### ①中戸市民の森

宅地化が進む中で緑地を  
残すために市が整備した土  
地です。風間街道沿いにあ  
る白井幼稚園の向かい側、

②市民参加推進課100  
人会議事務局 内線315  
1  
★この記事は100人会議  
により作成されたものです。

## 白井市 100 人会議

## 考動計画完成

本年度の行動予定を月別に  
スケジュール化した一覧表が  
完成しました。①アダプトプ  
ログラムの普及促進、②中央  
分離帯花壇の管理、③各地区  
の清掃活動、④ふるさとまつ  
りへの参加、⑤駅スペースを  
活用したPR活動を、それぞ  
れ「会議（考）」と「実践  
（動）」に分けた大変見やす  
い予定表です。

## アダプトモデルの 選定

新しいものの普及促進には  
誰かが新しい道を開いて行か  
なければなりません。アダプ  
トプログラムも同じことで、  
先導的な役割を果たすモデル  
地区を選定して、作っていく  
ことが不可欠です。先月見学  
した3地区の中では「大松交  
差点植栽帯」が市民の目につ  
きやすいこと、規模、作業の  
安全性など、最適な条件を備  
えています。しかし、主役は  
あくまで市民の皆さんです。か  
ら、近隣住人や市民活動団体  
とともに活動できることが必  
要です。その近隣の自治会、  
環境美化団体の意向を確認の  
上で、アダプトモデルの完成  
に向かって、一歩一歩、歩み  
を進めて行きます。

## 雑草に負けるな

中央分離帯花壇は、これか  
らの時期雑草の最も元気な時  
を迎えます。月に一度の草む



草むしり風景

しりでは、とても対応できず、  
花が雑草に負けてしまします。  
そこで「雑草に負けるな」を  
合言葉に4班に分けて、毎週  
土曜日（月4回）の早朝に草  
むしりを行うことにしました。  
現場はしふといスギナが花  
の間にビッシリ。花を引き抜  
かないように気を付けて行い  
ました。この草むしりは、秋  
の花の植え替えの時期まで続  
きます。

## クリンクリンの歌

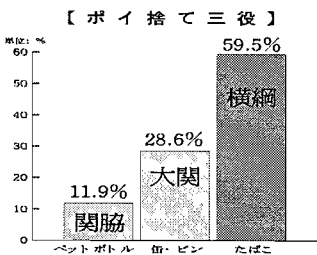
白井駅前地区長連絡協議会  
環境部会「街力隊」の柳田  
さんより、6月の会議冒頭に  
「クリンクリン」街をきれい  
にする歌」の完成のいきさ  
つが説明され、当会議の美化  
活動時にも使用して欲しい旨  
をお願いがあり、満場一致でこ  
れを受け入れました。この歌  
は作詞、作曲、編曲まですべ  
て白井市民のオリジナル作品  
です。この歌が市のさまざまな  
美化活動を一つに結び付け、  
「美化活動」＝「美歌活動」  
になることを期待しています。  
②市民参加推進課100人  
会議事務局 内線3151  
★この記事は100人会議  
により作成されたものです。

## 4年前の100人会議

「白井市まちをきれいにする条例」の中身は「ポイ捨て」防止条例です。この条例に従って、当時の美化活動班のメンバーではポイ捨ての実態調査を兼ねて、市役所と白井駅を結ぶ県道白井停車場線のごみ拾いを行いました。ラ・ポワール前の中央分離帯は雑草が生い茂り、ポイ捨てによるごみの宝庫で、ごみ拾いを何回してもごみは減少しませんでした。ごみを減らすには雑草のやぶをなくすほか道はないとの結論に達し、中央分離帯を花壇にしました。効果は抜群で、ポイ捨ては激減しました。この事実からポイ捨てを減らすためには、「ポイ捨てされない環境」づくりが必至であることが判明しました。

当時これを既に採用していた八千代市を訪問調査して「ポイ捨てされない環境をつくるには『アダプトプログラム』が最適である」と、市長への提言書の結論としました。4年の歳月を経て、今年「市民が育てるきれいなまちづくりたい」として実現しました。

100人会議はアダプトプログラムをバックアップします。ぜひ市民の皆さん自らが里親となって美化活動に手を上げてください。



## ポイ捨ての罰則

「白井市まちをきれいにする条例」では空き缶、吸い殻などのポイ捨てや犬のふんを放置した場合は3万円以下の過料になります。実際に罰則を受けた人はいませんが、罰則を受ける前に自らが襟を正し「ごみはごみ箱へ」のマナーづくりを強化したいものです。

右の表はNPO法人挨拶清掃のデータをグラフ化したものです。たばこは20本で1箱と換算し、その他は1本で換算しました。

## もう一つの試み

ポイ捨てのごみを減らすためには、横網である「たばこ」のポイ捨てを減らす必要があります。ポイ捨てされない環境づくりの一環として、適当な場所への灰皿の設置も検討中です。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

## 白井市 100人会議

## 花の植え替え

7・8月の天候不順で「ラ・ポワール」前の中央分離帯花壇の草取りは予定通りに行うことができず、いささか見苦しい状態ですが、10月6日(土)に予定している花の植え替えに向けて着々と準備中です。

花植えに興味のある人、近隣在住の人、参加・協力を持っています。

## ふるさとまつりへの参加



昨年のふるさとまつり参加の様子

10月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり開催される「白井市ふるさとまつり」に100人会議活動とアダプトプログラムのPRを目的として、昨年に引き続き参加します。展示の内容は「パネル班」と「集客・アンケート班」の班別に検討しています。「パネル班」では100人会議の活動の写真とアダプトプログラムの解説を中心にして、パネルを掲示することを検討しています。ぜひ見に来てください。

「集客・アンケート班」ではアダプトプログラムをテーマとしたアンケート調査を予定しています。回答者には粗品を進展します。粗品は当日のお楽しみですが、100人会議のぼり旗、グリーンのビブス(ベスト)を目印に遊びに来てくださ

## アダプトプログラム

100人会議ではアダプトプログラムの当面の主役である大松地区交差点の植栽帯近隣住民の同意が得られるような、具体的なイメージ案と当会議の協力体制を年内に作成することになりました。アダプトプログラムが全く新しい試みというところもあり、現在のところ住民の皆さんと当会議との意識にまだ温度差があると感じられますが、イメージ案作成の過程では近隣住民の意見も前向きに取り入れたいと考えています。

当面のモデル地区を大松地区交差点の植栽帯に定めて、近隣の自治会などに協力を求めています。これ以外の場所でも興味のある人も気軽に声をかけてください。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

SHIROI  
100  
KAGI  
2007-10

## ふるさとまつりへ着々と

REPORT  
37

## 花の植え替えに向けて



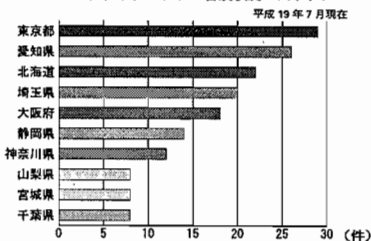
(株)フジコーさんの重機が活躍

「ラ・ボワール」前の中央分離帯花壇の花の植え替えをふるさとまつりの開催に合わせて行なうため、雑草取り（8月18日）や土壌掘り返し作業・肥料撒き（9月8日）など、花の植え替えに必要な前準備を進めてきました。右の写真は土壌掘り返し作業（9月8日）の様子です。おとこしに引き続き、(株)フジコーさんの協力により重機を使った作業も無事終了しました。ふるさとまつりが開催される10月末には、花も見ごろになっているでしょう。

## ふるさとまつりへの参加

活動記録写真のパネル展示とアンケート調査（粗品進呈）が中心です。今年はアダプトプログラム元年として活動しているため、パネル展示もアンケート調査もアダプトプログラムを中心に展開する予定です。アダプトプログラムに少しでも興味のある人は会場に来て理解を深めてください。

アダプトプログラム普及状況ベストテン



## アダプトプログラム

ふるさとまつりのパネル展示で使用するアダプトプログラムの全国の普及状況のデータを、(株)食品容器環境美化協会のホームページ上のデータを利用して作成しました。平成19年7月現在の普及件数（都道府県別）ベスト3は東京都、愛知県、北海道の順番です。千葉県は白井市を含む7市1町が参加しており、計8件で8位タイに入っています。市町村別で見ると、神奈川県逗子市は海岸清掃など計4件のアダプトプログラムを有しています。1市町村で複数のアダプトプログラムを有していることは例が少なく、特筆すべき点です。白井市でも、いつかは複数のアダプトプログラムを持ちたいものです。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

SHIROI  
100  
KAGI  
2007-11

## 協力団体第1号誕生

REPORT  
38

## 白井友の会



白井友の会の皆さん

市で初めての「市民が育てるきれいなまちづくりたいい」(アダプトプログラム)の協力団体第1号が誕生したので紹介します。白井地区自治会の中の「白井友の会」です。これを契機に引き続き協力団体ができるとを期待しています。

白井友の会の代表者、白井地区自治会4班の秋葉法夫班長によると、今回のアダプトプログラムの対象となった子どもの遊び場は、これまでこの場所の草刈りは近所に住む人の好意で行われていたそうです。このような場所は「本当は誰が草刈りをするべきなのか」「ごみ袋は誰が用意するのか」といった問題が発生します。ごみ袋についてはお金の掛かることですから、いろいろと苦慮してごみ袋を確保することになります。白井友の会は市民参加推進課からの説明を受け、ア

ダプトプログラム参加の有意義性を確認し、7月の臨時集会で参加が決定しました。市からごみ袋の支給と保険適用の支援が受けられ、ごみ袋確保の問題は解決したとのこと。

アダプトプログラムは身近な公共施設を自分たちの手できれいに使うための有効な制度です。しかし参加に際してもう少し利用しやすければと思います。

白井友の会からは保険制度などについての疑問点が挙げられました。これを受け市ではアダプトプログラムをより使い易い制度にするため、参加団体からの疑問解決に前向きに取り組むとのこと。

## まちづくりパートナー学科生が花植えを応援

10月6日に行われたプリスタ前の中央分離帯の花植えに、実習を兼ねて市民大学のまちづくりパートナーの学科生16人が応援に来てくれ、無事に予定通り作業を終えることができました。この花壇が通行人や市民の心身を癒してくれることでしょう。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。



西白井駅前広場で行った清掃活動

### 一緒にやろう 清掃活動

環境美化活動を広めるためには、地域の皆さんと100人会議が連携して、活動を盛り上げていくことが大切です。100人会議の年中行事である各地域の清掃活動を次のとおりを実施します。まちをきれいにしたいという人は、午前9時に各集合場所（100人会議の緑色の旗を目印に）集まってください。

#### 【白井停車場線】

日程 1月19日(土)

集合場所 白井駅北口

#### 【桜台地区】

日程 2月9日(土)

集合場所 一本桜公園

※軍手とトンク（ある人）を持参してください。

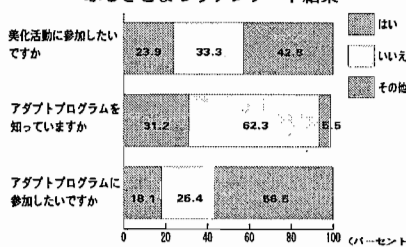
### 灰皿を試験設置

たばこの吸殻をポイ捨てさせない環境づくりの一環として、白井駅構内から最寄りの場所へ来年の早いうちに灰皿を設置し、しばらくの間ポイ

捨てが減少するか様子を見ます。

### 3割が知る アダプトプログラム

ふるさとまつりアンケート結果



右表は10月27日・28日に開催されたふるさとまつりで実施した、アンケート結果の抜粋です。アダプトプログラムの認知度が3割強と思った以上に高く、参加したいという人が約18割で、認知者の中の6割近くの人がいることは心強い限りです。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。

### 検討スタート

100人会議ではアダプトプログラムのモデル地区の候補として大松地区交差点の植栽帯を取り上げています。近隣住民の同意が得られる具体的なモデル事業案と当該協議の協力体制を年度内に作成することになりました。

12月の会議で各自の意見をそれぞれ出し合い、基本的な考えがまとまりました。近隣住民と100人会議の双方に負担が少なく、偏りのないやり方を工夫すること、事業が完成するまでの間100人会議は協力を惜しまないということです。具体的に出た意見には花壇に季節の花々を植えたり、芝生、低木を整備することなどや、花壇を自治会管理の貸し花壇にしてはどうかとのユニークな意見もありました。次回の会議でこれら意見を具体的なイメージにして、再度検討します。

平成20年度に具体的な展開ができるように、近隣自治会の意見も取り入れ、今年度中に実行計画を作成します。

### 一緒にきれいな 清掃活動

100人会議の年中行事である各地域の清掃活動を次のとおり実施します。まちをきれいにしたいという人は午前9時に各集合場所（100人会議の緑色の旗を目印に）に集まってください。

#### 【白井停車場線】

日程 1月19日(土)

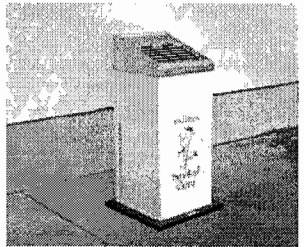
集合場所 白井駅北口

#### 【桜台地区】

日程 2月9日(土)

集合場所 一本桜公園

### 白井駅に灰皿設置



設置予定の灰皿

前月号で白井駅への灰皿の試験的设置を紹介しましたが、2月から白井駅の北口に設置することが決まりました。ポイ捨てが減少するかどうかしばらく様子を見ます。

### 第6回環境フォーラム

100人会議も参加する市環境フォーラム実行委員会が主催で「自らの手で守ろう、ふるさと白井の自然と環境」をテーマに開催します。

日程 2月9日(土)

時間 講演会・午後1時～4時30分、展示・午前10時30分～

場所 文化会館中ホール（パネル展示は文化センター研修室）

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。

## アダプト企画を提案

市の土地を市民が独自に管理する里親制度、アダプトプログラムについて100人会議ではモデル事業案を作成しました。

この事業案を「アダプトプログラム企画提案書」にまとめ、モデル地区に位置付けた大松交差点の選定理由や具体的な方法を記載しました。100人会議としては大松交差点の植栽帯が美しい花だんなに生まれ変わり、近隣の皆さんの心を癒やす空間として、さらにはコミュニティの場として活用されることを願っています。100人会議はそのための協力を惜しみません。

大松交差点の植栽帯は消防署側2カ所、その反対側に3カ所の計5カ所で構成され、面積は35平方メートルから380平方メートルとさまざまです。花だんなにする場合、季節ごとに花を変えることもできますし、複数の団体が担当を決めて管理をお願いすることも可能です。

この企画提案書は近隣の皆さんから意見を頂き、一緒になって検討を重ね、完成度を高めていきたいと考えています。近隣自治会の総会などで来年度の活動予定に取り上げられることを期待しています。

## 実践活動効果あり

12月に行った西白井駅前広場の清掃活動に引き続き、市役所から国道464号までの清掃活動を1月19日に行いました。以前から地域の団体や個人が清掃



今年最初の清掃活動

活動を行っているこの周辺は、新築の住宅が立ち並んだことから、ごみが捨てられやすいやぶが大幅に減少。100人会議が整備した中央分離帯の花だんと合わせ、よりごみが捨てられにくい環境になりました。このことが影響してか、収集したごみ量は減少しています。アダプトプログラムの目標の一つでもある、ごみが捨てられにくい環境づくりの効果が実例として挙げられたと言えるのではないのでしょうか。

皆さんの力で白井市内にアダプトプログラムを浸透させ、市民が育てるきれいなまちをつくりませんか。

## より効果的に

100人会議では2月から白井駅前へ灰皿を設置する予定でしたが、関係機関と連携を取り、より効果的に事業を進めることとしました。詳細については、決定次第お知らせします。

☎ 市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。

平成19年度のまとめを3月に2回の会議を行い、検討、作成しました。このまとめを今後に生かします。



3月7日・只今会議中

## 美化実践活動

市民参加による環境美化活動を広めるため、地域住民や団体との連携のもと、西白井駅、白井駅、桜台地区における清掃を実施しました。またポイ捨てさせない環境づくりとして、白井停車場線の中央分離帯を花壇として整備しました。この中央分離帯の花壇は作業の負荷が大きくアダプトプログラムの今後の展開次第ではその負荷にどのように対応するかが話題になりましたが、今後も整備して行くべきであるという意見が大勢を占めました。

## 広報・啓発活動

平成19年度はアダプトプログラムの普及促進を重点として、毎月1回「広報しろい」で活動内容を紹介し、ふるさとまつりや駅スペースを利用した啓発のためのパネル展示を実施しました。「広報しろい」のこのコーナーは継続していきますが、ふるさとまつ

りや駅スペースの利用については、アダプトプログラムの展開の負荷次第とし、その実行は来年度の課題としました。

## アダプトプログラム

平成19年5月からスタートしたこの制度は、制度の普及促進を活動方針に掲げ、モデル事業を展開しました。モデル事業から制度に対する関心・理解、参加希望を期待し検討を重ねてきました。残念ながら所期の目的は未達成です。来期も引き続き制度の普及促進を目指し、市民の視点から制度を盛り上げるための検討を進めていきます。

## たばこのポイ捨て防止

検討を進めてきた灰皿の設置は、平成20年5月に白井駅前へ設置の予定で進めていますが、これは試験的なものです。これは試験的なものですが、灰皿を設置した際の効果を把握するため、行政や関連企業と連携・協働して行います。しかし根本的にポイ捨てを防止するには、喫煙者のさらなるマナー向上を目指して「まちをきれいにする条例」の管理徹底の必要があると考えられています。

■ 市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。

## 委嘱はベテラン21人



4月22日の委嘱状交付式での1コマ

抱負が語られた後、役員の出が行われました。

今年度の委員長は前年度で勇退された加藤三洲さんに代わって、第1期から美化推進活動リーダーとして活躍された田中和八さんに決定。美化推進活動リーダーには、やはり第1期からのメンバーである森繁次郎さんに、広報・啓発活動リーダーには前年度に引き続き濱崎嘉徳さんに決定しました。ほかに第7回環境フォーラム担当委員として、伊東威郎さんと濱崎嘉徳さんを選出しました。

## 20年度の活動方針

活動の基本方針は昨年度に引き続き、アダプトプログラム の普及促進であることと、懸案の大松交差点の植栽帯のモデル事業の実現に向けてた だ今努力中であることが確認 されました。

## 白井駅前灰皿設置

5月1日から駅前広場に環境課の協力もあって灰皿が試験的に設置されています。白井駅最寄りの推進員を中心にした関係者によって、設置の効果測定の方法も確認されており、効果が大きいに期待されます。

## 第1回会議

引き続き今年度最初の会議が開催され、改めて当会議の職務の確認と各自の今年度の

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151 ※この記事は100人会議により作成されたものです。

## 5月10日の会議

基本的な活動日について、定例会議は平日の夕刻ではとの意見も出ましたが、従来通り第1土曜日の午前中に、美化実践活動は第2土曜日に決まりました。

引き続き本年度の活動計画について話し合いました。

## 本年度の活動計画

前年度からの継続事業として中央分離帯花壇の管理、灰皿の設置事業、各地域での清掃活動、アダプトモデル事業など、これらの活動は本年度においても継続の予定です。さらには今年度から加わる各出先機関を利用したPR活動がありますので、やり方については前年度に比べて、5人減の現状を考え、より効果的な方法を検討しました。その結果、従来のやり方の見直し、中止を含めて検討し、全体会議終了後に引き続き委員長、副委員長と数人の有志からなる小委員会では対応案を作成し、次回の全体会議に諮ることになりました。

## 第2号の誕生

アダプトプログラムの協力団体第1号の「白井友の会」に引き続き第2号が誕生しました。

第2号となった団体は先の当会議の前委員長の加藤三洲さんの弟、恵泉さんが代表者



プリスタタ前の花壇の整備

を務める「ひよこ児童公園の環境を守り地域協力を促進する会」で、活動場所は軍土地区です。この会は4月からゴミ袋の無償供与と保険の適用が受けられます。

## 5月17日の実践活動

プリスタタ前の花壇の雑草取りを久しぶりに行いました。意図しないポピーと雑草にウィオウが隠されていましたので、その排除に専念しました。参加人数が少なかったため、国道464号側まで手が回りませんでした。

協部さんというプリスタタの管理組合の理事さんに声を掛けられ、一緒にやりたいといううれしい打診がありました。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151 ※この記事は100人会議により作成されたものです。

## アダプトプログラムの普及促進策の検討

特に今年はアダプトプログラムの普及の拡大に傾注すべきと考えています。公共空地を市民が独自に管理するアダプトプログラムに着目し、新たな切り口についても話し合いを行いました。

その一つに「民間企業が企業の周辺の美化活動を行う際に、アダプトプログラムを活用していただけないか。」100人会議として働きかけを行う予定です。現在、アダプトプログラム協力参加団体は検討中の団体を含めて3団体（すべてが市民団体）ですが、あらゆる機会を利用して、制度の紹介を行い、参加団体を増やしたいと考えています。

このほかに団体や個人を問わず、美化活動を行っているすべての人たちにごみ収集に意欲がわくようなデザインのごみ袋を作り、収集についても便宜が図られるようにしたいとの意見が強く出ました。

## ひよこ児童公園

前月号で紹介した第2号のアダプトプログラムの協力参加団体、軍士地区の「ひよこ児童公園の環境を守り地域協力を促進する会」の活動を紹介します。当会はほかに「花いっぱい運動」にも参加しています。

草取りから花植え



この会は子どもが安全に遊べる場所の確保と近接市道のプランターの花植えなどを中心に活動する45人ほどの団体です。右の写真は6月初旬の活動の際の1コマです。

## 6月14日の実践活動

白井停車場線のごみ拾いと先月手の回らなかったプリスタ前の中央分離帯花壇、464号側の雑草刈りを行いました。清掃前には雑草に隠されていた「花いっぱい運動」の看板が清掃後にはその存在が明らかになり、芝草も何とかが見えるようになりました。10月には花を植え替えますので、興味のある人は手伝いをお願いします。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151  
※この記事は100人会議により作成されたものです。

## 7月5日の会議

白井市100人会議

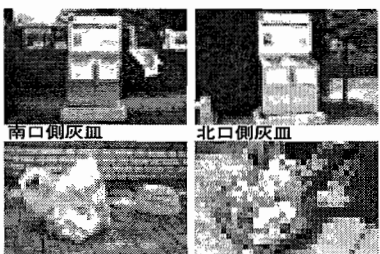
公共空地を市民が独自に管理するアダプトプログラムの普及促進と100人会議広報の編集方針を審議しました。民間企業のアダプト参加は各会社の事情にあった形で協力いただき、成果が出たものはこの欄で社名紹介もしていきます。100人会議の広報はアダプトの普及促進・灰皿設置状況報告・100人会議推進委員の増員啓蒙などを中心に編集の展開をしていきます。

## 7月12日の除草作業

白井駅北側プリスタ横の白井停車場線中央分離帯花壇の除草作業を行いました。この時期の雑草は日々の成長著しくその作業には手を焼いていますが、雑草が茂るとなぜかそこにごみの「ポイ捨て」もされてしまいます。自分のごみは自分の家に持ち帰ってもうためにも暑い中の草むしりを続けています。

## 灰皿設置から3カ月

白井駅に5月1日、念願の灰皿が設置されました。白井駅の北口1台と南口2台を、それぞれ電話ボックス横に置きましたが、早速たばこの「ポイ捨て」防止に効果がでています。その反面、予想外の3点の課題が確認されました。  
①北口の利用量が南口より多いこと



南口←2週間の吸い殻→北口

②南口の設置位置が利用者の動線から離れ過ぎており、女性利用者には夜間暗過ぎること  
③灰皿に空き缶・瓶やたばこの空き箱を捨てるなど、ごみ箱として利用する人がいること

①については北口の灰皿を7月からさっそく2台に増設しました。②の南口設置位置は再検討中ですが、③の吸い殻以外のごみは灰皿やその周辺に置かないで所定のごみ箱や自宅へ持ち帰ることが望まれます。灰皿はごみ箱ではありません。

## 推進員になろう

市民参加によるまちづくりを一緒に進めましょう。100人会議の参加希望者は事務局へ申し込んでください。大勢の参加をお待ちしています。

市民参加推進課  
100人会議事務局 内線3151へ

※この記事は100人会議により作成されたものです。



## 中央分離帯花壇の 花植えは10月4日

REPORT 48

### 中央分離帯花壇の 花植え

白井市100人会議

ホームマック前の中央分離帯花壇の除草作業は10月4日(土)の花植えを目指して、雑草に負けるなどの合言葉のもとに、8月は7日・22日と9月は5日といずれも日中の暑熱を避けて、早朝に行いました。

10月4日は午前9時から花植えを行います。雨天のときは翌5日(日)に順延です。当日はホームマック前で、この花植えに興味がある人の参加をお待ちしています。

### アダプトプログラムの進捗状況

公共空地を市民が独自に管理する「アダプトプログラム」の進捗状況として企業参加と地域市民の参加がそれぞれ1件、契約間近であるとの報告がありました。地道な推進活動ですが着実に「きれいなまちづくり」の仲間が増えてきました。

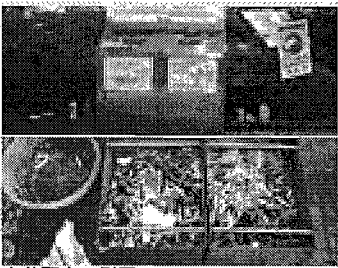
### 8月9日の会議

ホームマック前の中央分離帯花壇の件、ふるさとまつりへの参加の2件について審議しました。中央分離帯花壇は白井市が1年更新でUR都市機構から借り、100人会議が維持管理しているものです。ポイ捨てごみが減少傾向にあることや、UR都市機構から県の管理に替わることが予想

されることなどから、来年度はいったんこの場所を返却する方向で話を進めています。

ふるさとまつりへの参加については、100人会議の知名度を上げることが目的に平成18・19年と連続で参加し、所期の目的を果たしたものであるとして本年度は参加を見合わせることにしました。

### 灰皿はごみ箱ですか



白井駅南口側灰皿

白井駅南口側の灰皿(写真上)周辺がごみ捨て場のようになっています。タバコの吸殻はこの2週間この程度(写真下)ながらその周辺には「空き缶」「空き瓶」「空き箱」がごみ捨て場のまわりに捨てられています。これを利用している人は良識をもって灰皿を活用し、タバコの吸殻以外のごみなどは捨てないように、放置しないようにしてください。

●市民参加推進課100人会議事務局 内線3151へ

※この記事は100人会議により作成されたものです。



## 中央分離帯花壇は 10月末が見ごろ

REPORT 49

### 第3号「風楽里」

白井市100人会議



風楽里の皆さん

アダプトプログラムの協力団体第3号の「風楽里」を紹介します。

代表者は橋本哲夫さんで、メンバーは24人です。活動場所は大山口地区の緑地で、月3回ほど花壇作りとその整備を行っています。当会は8月からごみ袋の無償供与と保険の適用が受けられます。

### きれいな花壇が完成



10月4日の作業

中央分離帯に花壇を作成したのは、ポイ捨てされない環境づくりのためです。ただし、どうせ花を植えるなら、ここ数年でできるだけ多くの人の目を惹き寄せたいということで、市役所の最大のイベントである「ふるさとまつり」への来場者に照準を合わせ、10月末

に見ごろになるように10月の初旬に花植えを実行しています。そのために雑草の繁殖力旺盛な時期、その除草作業を、8月は7日・22日・29日と9月は5日・13日と通常月の数倍も行いました。花植えは10月4日に行いました。当日は多くの人の協力を得て、見事な花壇ができました。心より感謝します。ありがとうございました。

### 100人会議のあり方

9月6日の会議では100人会議の今後のあり方について打ち合わせをしました。市民参加推進活動は新しい公共とも呼ばれ、すべての関連者が協働して創出し、共に担う公共だと言われています。100人会議としては環境美化についての一つの回答として、市民と市との協働で行うアダプトプログラムを提案し、ここ2年ほどの普及に努め、数件ですが実績も始めている。この辺で新しい方向を目指す時期に来ていることを認識して、もっと白井市民のためになるあり方を年度内の会議で検討して行きたいと考えています。

●市民参加推進課100人会議事務局 内線3151へ

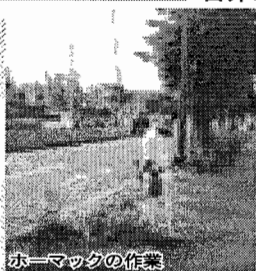
※この記事は100人会議により作成されたものです。

100  
2008-11

誕生アダプト協力事業  
所第1号

REPORT  
50

第1号はホームマツク白井店



ホームマツクの作業

民間企業のアダプトプログラム参加第1号が決定しました。活動団体はホームマツクストア白井店です。当店はこれまで自主活動を行ってきましたが、改めて白井市アダプトプログラムに合意し、店舗周辺の歩道、側道の植え込み、道路中央分離帯の可燃ごみ、不燃ごみの回収活動を年4回行うことになりました。登録人数は65人、1回の活動人数は10人程度です。これを契機に民間企業のアダプト参加の増加を期待しています。

10月の100人会議

11日に行った会議では「アダプトプログラム登録証」「白井駅へ試験設置している灰皿」「来年度の100人会議の方向性」の検討を行いました。

登録証については市に対し合意書とは別に協力団体がわかるようにしたほうがいいことを提案。その様式などを検討しました。灰皿については

試験設置の期限が切れ、今後どのようにするかを今までの実績を基に検討しました。結論には至っていませんが、環境課と一語に継続する方向で検討を進めていきます。

今回の会議で一番の大きな議題は来年度の方向性です。会議では市長委嘱による100人会議は本年度をもって終了することを確認しました。平成19年5月にスタートした100人会議提案による「市民が育てるきれいなまちづくりたい」が、アダプトプログラムの普及促進に努めたことで一般協力団体数件のほか、民間企業協力団体も誕生。このことから所期の目的が達成されたものと認識し、今後は市の業務に委ねるのが妥当と判断しました。今後のアダプトプログラムについては、市にアダプトプログラムの普及促進を委ねた時に本年度以降の市の対応策を確認しますので、次号以降でお知らせします。

100人会議ではこの100人会議終了の結論を受け、これから本年度末まで「立烏跡を濁さず」の例えに従い、残された案件の整理・まとめを行なっていく予定です。

甲・四 市民参加推進課100人会議事務局 内線3151へ

※この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市100人会議

SHIROI  
100  
KAIGI  
2008-12

効果観面の存続

REPORT  
51

効果観面プランター



右の写真は白井駅前南口の灰皿周辺を11月11日に撮影したものです。以前に広報8・9月号で駅南口の灰皿周辺の空き缶などのポイ捨ての余りの多さにポイ捨て防止のお願いをしました。残念ながら効果はありませんでした。灰皿を灰皿として機能させるため、11月1日にプランターを配置しました。今のところ効果観面の一語がピッタリ。灰皿にはたばこの吸い殻が半分ほど溜まっていたことが、写真のとおり空き缶などとは全く見当たりません。しばらくこの状況を観察し、プランターの維持管理が重要です。

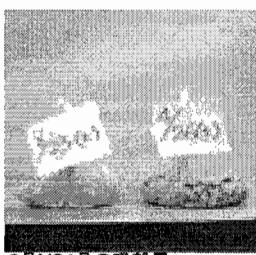
効果観面白井駅前の灰皿

駅前の灰皿の設置も効果観面です。定点観測の吸い殻の総量で確認、見た目で2分の1以下には減っています。

6カ月の試験期間を終了しましたので、10月末に環境課

と今後の打ち合わせをしました。環境課としては設置継続が現状での良策と認識しており、これの管理継続にはボランティアの協力が必要とのこと、来年度の3月末までは100人会議で担当することになりました。その後どうするのが重要です。

効果観面の存続



8月VS4月の吸殻量

効果観面と言えば、中央分離帯の花壇です。ポイ捨てごみが激減しました。これは紛れもない事実です。

来年度以降管理が都市再生機構から、千葉県に移されますが、これで以前の様に返還してしまえば、元の木阿弥、雑草の王国、ポイ捨ての山になるでしょう。これも今後の維持管理が重要です。これらの効果観面をどう存続させるかこそが100人会議の使命と再確認し、アダプトの促進につながるものと信じ、残された時間をそれに傾注したいと思っています。

四 市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

※この記事は100人会議により作成されたものです。



# 100人会議は3月まで

REPORT 52

## 12月13日の会議

環境美化を推進する市長委  
嘱の100人会議は、アダブ  
トプログラムの導入と普及を  
終着点とし、平成20年度末を  
もって終了します。

これからの最重要課題とし  
て、今までの活動を発展的に  
移行させなければなりません。  
私たちは平成15年度から  
100人会議を推進し、着実  
に成果を出してきました。こ  
れを水泡化させるわけにはい  
きません。今後は6年間の実  
績を美化活動以外の分野も視  
野にいたれた展開が望まれるで  
しょう。

今月まで「100人会議の  
方向性」というテーマのもと、  
3回の討議を行い大筋の集約  
が得られました。この集約案  
をたたき台に推進委員各自の  
意見・提案を課題として、今  
後の会議で100人会議の提  
言を結論付けることとしまし  
た。

そのほか、例年実施してき  
た駅構内へのパネル展示は、  
西白井駅と白井駅の2駅とし、  
駅前の灰皿増設などについて  
も話し合いをしました。



## 12月6日除草作業

去る10月4日に植えた白井  
停車場線中央分離帯のビオラ  
の花が雑草に埋もれてしまい  
そうになっていました。午前  
9時から（早い人は8時30分  
ごろから）12人が集まって除  
草作業をしました。市職員1  
人と新市長も一緒に作業をし  
てくれました。3月末までは  
100人会議でこの花壇の花  
を美しく咲かせ、市民の癒し  
に努め心無い人の「ボーイ捨て  
防止」を求め続けます。

## 環境フォーラムに 出展

2月7日(土)に文化会館で環  
境フォーラム「自らの手で守  
る白井の自然と環境」が開  
かれ100人会議もアダブト  
プログラムの成果をパネル展  
示します。今年は他の上小  
学校の「鮭の放流」という白井  
では珍しいテーマの発表もあ  
るのでぜひお出かけください。

図 市民参加推進課100人  
会議事務局 内線3151  
※この記事は100人会議に  
より作成されたものです。

## 白井市100人会議



# 100人会議の収束に向 かって

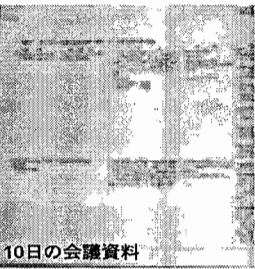
REPORT 53

## 1月10日の会議

第10回会議は「100人会  
議の事業成果と課題」「パネ  
ル展示」「そのほか」のテー  
マで話し合いました。

最初のテーマ、事業成果と  
課題は1月15日号で示したと  
おり、年末年始に各自が自宅  
でまとめたものを発表しまし  
た。100人会議では市民参  
加に関する活動（新しい美化  
システムの検討、制度の普及  
促進）、美化推進活動（各地  
域での清掃活動、中央分離帯  
への花の植栽、駅前広場の灰  
皿設置、広報・啓発活動）（広  
報しろいの活用、ふるさとま  
つりの活用、駅スペースの活  
用）などを実行し、成果を残  
してきました。それだけに反  
省や課題を見いだすこととな  
りました。「可能であれば継  
続したいが、そのためにはこ  
のような仕組みや方法がある  
のではないか」などの提案意  
見と活動により出てきた課題  
について今後どのように取り  
組むかの意見が多く寄せられ  
ました。

これらを事務局に一覧表と  
してまとめもらいました。  
自由記載欄には「100人会



10日の会議資料

議が美化活動に終始し美化  
活動に異存はなかったが所期  
の思いと異なっていたとの感  
想や「行政（市）と市民活動  
の連携」に関する提案など熱  
い気持ちで盛り込まれていま  
した。この一覧表に項目を追  
加するなどし、次回会議で再  
度確認することとなりました。

## 1月17日も草取り 作業を

冬場の乾燥期だから雑草が  
伸びていないと予想し開始し  
た今回の除草作業は、白井停  
車場線中央分離帯の花壇に  
立った時は予想どおり、雑草  
がないと思っていました。し  
かし下を見ると根が横にしっ  
かり張り出し、可憐な「ビオ  
ラ」に取り巻いていました。  
早朝から11人の参加でこの雑  
草を丁寧に取り除きましたが、  
ビオラには少しお湿りが欲し  
いこの間の天気でした。

## 白井環境フォーラ ム開催

昨年末より準備した原稿の  
印刷やパネルへの張り付けな  
どの準備を2月5日から進め、  
2月7日に2枚のパネルにま  
とめて展示しました。100  
人会議としては最後の参加と  
なりました。

図 市民参加推進課100人  
会議事務局 内線3151  
※この記事は100人会議に  
より作成されたものです。

白井市100人会議

2月14日の会議

第11回会議は「100人会議の事業成果と課題」前回会議で話し合った結果を精査すべくこれに集中して審議しました。また白井停車場線中央分離帯(国道464号寄り)に「アダプトプログラム」を立ち上げて維持・管理するため、希望者を募る提言も出されました。主テーマの精査は事務局作成の19ページの一覧表を見ながら、項目や字句の加除修正を行いつつ進めました。検討の結果、よりわかりやすくまとめるために「100人会議の目的」「発足以来の経緯」「具体的な取り組み」「取組んだ結果生じた課題」「課題に対する提案事項」に仕分けすることしました。再度事務局で編集してもらい、次週土曜日に委員有志で微調整することになりました。左の写真は市環境フォーラムで



パネル展示した写真で各項目がわかりやすく表現されていました。

2月21日有志会議

「100人会議の事業成果と課題」の精査後時間のない中、事務局の努力で資料を10ページに再編集してもらいました。7人の委員と2人の職員が出席し、この資料をもう一度見直しおおむねまとめることができました。次回会議3月7日の100人会議最終会出席委員全員の確認と承諾を得ることにしました。概略内容は1ページ「はじめに」・100人会議設置の目的・環境美化活動に取組んだ6年間、2ページから8ページは「100人会議の事業成果と課題(6年間の実績)」・市民参加に関する活動(市民参加の体制づくり)・環境美化の実践活動(市民参加の実践)・広報啓発活動(市民参加の啓発)を掲げ、それぞれをさらに7項目のサブタイトルを設けて詳細解説してあります。最後の9ページから10ページは「推進委員から100人会議活動への想い」として推進委員の熱い想いがほぼ原文でつづられています。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151  
※この記事は100人会議により作成されたものです。